

## 平成30年度鳥取大学・日南町連携事業一覧

- にちなんふる里まつり連携出前科学実験教室 2018（継続）：**  
地域実践教育活動（エクステンション&アウトリーチ事業）  
（技術部医学系部門技術長 三谷秀明／教育委員会との連携）
- 国際理解講座「りゅうがくせいと いっしょに あそぼう」（継続）：**  
地域実践教育活動（エクステンション&アウトリーチ事業）  
（国際交流センター講師／日南町図書館との連携）
- とっとり暮らし早期体験学習（継続）：**地域実践型教育活動（地域連携授業）  
（地域価値創造研究教育機構准教授 清水克彦／企画課との連携）
- 地方創生政策体験学習（継続）：**地域実践型教育活動（地域連携授業）  
（工学部工学研究科助教 長曾我部まどか／企画課）
- 鳥取大学・日南町連携講座として「にちなん町民大学」を開催（継続）：**その他連携事業  
（鳥取大学教員／教育委員会との連携）
- 日南小・中学校「サマースクール」（26年度から日南町の主体事業として継続）：**その他連携事業  
（鳥取大学学生／教育委員会との連携）
- 鳥取に恐竜はいたのか？ | 日南町の地質多様性の教育・観光利用に向けて（新規）：**  
平成30年度 地域参加型研究プロジェクト  
（農学部講師 菅森義晃／企画課との連携）
- 林野庁新規モデル事業への協力（新規）：**その他連携事業  
（鳥取大学が中国山地森林未来創造協議会の構成員として参加）
- 大宮まちづくり協議会と鳥取大学地域学部「むらおこし論」との連携**  
（地域学部准教授 筒井一伸／大宮まちづくり協議会との連携）

## 平成30年度鳥取大学・日南町連携事業実績報告

### 鳥取大学－日南町連携事業ワーキンググループ会議・連携事業報告会

第1回 平成30年 7月 5日（鳥取大学鳥取キャンパス）

第2回及び連携事業報告会

平成31年 3月 2日（日南町総合文化センター）

### 【教育・文化】

#### ●日南ふる里まつりに連携する科学実験教室の開催（継続）：

地域実践教育活動（エクステンション&アウトリーチ事業）

（実施代表者 技術部/三谷秀明/教育委員会）

#### 【実績報告】

本年度は昨年10月28日（日）の10:00から15:00の間、日南町総合文化センターにおいて、「にちなんふる里まつり 2018」に併せて開講した。湖山地区から新たに担当講師2名に加わってもらい、併せて9講座を開講し、受付者数67名、各講座総来場者数は合わせておよそ250名であった。本学からは、退職した教員を含め、担当講師とアルバイト学生を合わせ14名が指導した。新たな講座の追加、一部の講座のテーマ変更を行ったこともあり、「参加して面白かった。」という意見が殆どであった。今年度の特徴として、例年、「楽しいから今年も来た。」という来場者にかわり、新規の来場者が多数を占めた様子であり、長年の開講の効果が広がっていることは間違いないようである。各講座を体験後の子供たちに行っている「将来、鳥取大学で待っているから。」の声かけに対する反応はとて良く、来場者は本学がイベントを開催しているとの認識を十分に持っていることがわかる。

今後事業を展開するうえで、連携先からの経費支援も含め、技術部負担の抑制を行う必要がある。また、経費の無駄をなくすため、効果的な広報活動による来場者の増加を図る必要がある。



## ●国際理解講座「りゅうがくせいと いっしょに あそぼう」(継続) :

地域実践教育活動 (エクステンション&アウトリーチ事業)  
(国際交流センター准教授 御館久里恵/日南町図書館 浅野主任司書)

### 【実績報告】

平成30年8月10日に小学生を対象に国際理解講座を開催し、17名の参加があった。今年度は、台湾からの留学生を招きおこなった。まず、3人による台湾の紹介と3択クイズを行いました。最初に台湾の地理や文化や、台湾人しか知らないようなちょっと変わった習慣など紹介をした後、台湾クイズを行った。

次の「名前の読み方を知ろう」では、参加者に名前の台湾読みと発音を紹介した。参加者は一人一人自分の感じの台湾読みを声に出して発音した。聞き慣れない漢字の読み方もあり戸惑っている児童もいたが、留学生が丁寧に教えることで全員発音することができた。

最後に、「中国ごま」と「ジェンズ (羽根蹴りゲームの羽根)」を使った台湾の子ども遊びを体験した。コツをつかむまで時間がかかったが、子どもたちは遊びに熱中していた。留学生と参加者の子どもたちは、最初はお互い緊張しているように見られたが、一緒に学んだりするうちに次第に打ち解けていったように感じられた。体験を通して外国の文化を知ることは、子どもたちにとって国際理解を深める貴重な機会となるので、ぜひ、来年度以降も継続して実施したい。



## ●とっとり暮らし早期体験学習 (継続) : 地域実践型教育活動 (地域連携授業)

(地域価値創造研究教育機構准教授 清水克彦/企画課 牧主事)

### 【実績報告】

鳥取大学と連携協定を締結している日南町、大山町、琴浦町、南部町、智頭町の5町をフィールドとして、実際に現地に赴き視察を実施し、大学入学後早い時期に地域の実情に接することにより、各町の特色ある自然や産業についての教養を身につけるとともに、地域を学ぶ動機付けを行うことを目標とした講義である。

日南町では4月25日(水)に牧主事に町の概要について大学で講義いただき、5月6日(日)には、実際に学生が町を訪れ第1回「にちなんめしふえす」への参加を通して、特産である日南米特徴や付加価値を高める取り組みについての現状と課題を就農者、Iターン者の視点から学んだ。内容や学生の感想をCOC推進室HPで紹介する予定である。

7月18日（水）の最終講義では学生が得た気づきなどについての報告会を鳥取大学にて実施した。



### ●地方創生政策体験学習（継続）：地域実践型教育活動（地域連携授業）

（工学部助教 長曾我部まどか／企画課）

#### 【実績報告】

8月25日（土）～8月28日（火）までの3日間、日南町地内で体験学習を行った。今回は旧木下家の利活用事業を対象とし、旧木下家の利用状況について体験を通して学んだほか、滞在中は旧木下家に宿泊をした。また他の古民家の活用状況や町内の空き家の状況について、現場見学や関係者への聞き取りをし、古民家の活用についての多様な選択肢があることを学んだ。9月27日（木）には全体の発表会があり、今回の体験を踏まえた日南町への提案を行った。（資料1）この講義の受講生は公務員志望者が多く、体験学習は公務員の現場を体験したり、住民と交流したりする良い機会になっているため、来年度も継続して実施したいと考えている。

### ●鳥取大学・日南町連携講座として「にちなん町民大学」を開催（継続）：その他連携事業

（鳥取大学教員／教育委員会）

#### 【実績報告】

「つなげる、つたえる、日南の未来へ」というテーマのもと、歴史、自然、文化など、将来へと伝えていきたい日南町の姿や、現在日南町が抱えている課題などについて各分野の専門家を招いて、日南町民大学を開催している（2月5日現在、9回開催終了、のべ220名参加）。

本年1月10日（木）には、「日南町の多様な地質から読み解く地球の歴史」（会場：日南町総合文化センター）と題し、農学部 菅森義晃講師にご講演いただき、16名の参加があった。

講演では日南町の様々な地層の写真を見せていただきながら、どのようにして地層ができあがっていったのか、また日南町でみられるノジュールや化石についても紹介された。

講演後のアンケートでは、「地形や地質に興味があり、おもしろかった」「ぜひ、フィールドワークをしながら地質について解説してもらいたい」といった感想が寄せられた。

来年度以降も、鳥取大学より講師を派遣いただき、町民が学ぶ楽しさや大切さを感じられる生涯学習



の場として「にちなん町民大学」を実施していきたいと考えている。

### ●日南小・中学校「サマースクール」(継続)：その他連携事業

#### 【実績報告】

今年度のサマースクールは、小学生(1～6年生)を対象に4日間実施し、67名(延べ181名)の児童が参加した。4名(延べ10名)の鳥取大学学生ボランティア、6名(延べ14名)の地域ボランティアにご協力いただいた。学生のみなさんは、事務局担当者の話を熱心に聞き、各自工夫しながら、丁寧に子どもたちの指導にあたっていただいた。今年度は、学習支援の他に「カード遊び」を通じた異学年交流も行い、子どもたちの活動がスムーズにいくよう学生のみなさんに声かけ等を行ってもらった。また、自身の経験を基にした話や学習の進め方、学習の必要性など幅広い視点で、子どもたちにメッセージを伝えていただいた。教員をめざす学生もおおり、直接子どもたちと向き合って話や指導ができたことは、学生にとって今後に生かせる体験になったと思う。

### ●鳥取に恐竜はいたのか？ | 日南町の地質多様性の教育・観光利用に向けて(新規)：

平成30年度 地域参加型研究プロジェクト  
(農学部講師 菅森義晃/企画課 牧主事との連携)

#### 【実績報告】

日南町は鳥取県下において、地質多様性が高く、古生代～新生代の地層が産出する。これらのうち、古生代および中生代の地層について地質学的検討を加えた結果、①古生代と思われる地層の地質構造および微化石の含有の確認、②陸成の関門層群相当層の転石から無脊椎動物の生痕化石である可能性のものを採取した。特に②については、さらなる調査で露頭を発見し、大型化石の発見に向け調査を継続したい。来年度以降も①および②について引き続き検討を行い、学術的にも注目されうるポテンシャルをさらに高める。また、遊四季多里が実施する化石発掘イベントにも参加し、積極的に地元住民との情報交換を実施した。さらに野外で研究成果を住民に紹介する予定(12月)であったが、出産予定日がずれ込んだために中止した。成果の一部をにちなん町民大学で紹介した(1/10実施。参加者数16人)。今後、遊四季多里との連携を図るなど、住民とのパイプを強固にし、地質資源の教育・観光利用を推進していく予定である。



写真 1。関門層群相当層の乾痕が見られる泥岩の転石（赤紫色の岩石）。乾痕は洪水時に堆積した泥が乾燥して形成されるため、陸成の地層の存在が確認された。ただし、露頭の発見には至っていない。



## 【産 業】

### ●林野庁新規モデル事業への協力（新規）：その他連携事業

（鳥取大学が中国山地森林未来創造協議会の構成員として参加）

#### 1. 中国山地森林未来創造協議会の構成

プロジェクト名	構 成 員
①不在村地主等山林集約化事業に関すること	日南町、日南町森林組合、国立大学法人鳥取大学
②ICT技術を活用した中央中国山地地域モデル循環型林業確立事業に関すること	日南町、日南町森林組合、日南町木材事業協同組合 【オブザーバー】 鳥取県
③FSC材・FSC製品流通拡大事業に関すること	日南町、(株)オロチ、(株)大建工業、(株)物林、日南町森林組合、鳥取日野森林組合、一般財団法人広島県森林整備・農業振興財団 【オブザーバー】 アサヒの森環境保全事務所
④森林カスケード新マテリアル開発事業に関すること	日南町、(株)オロチ、大建工業(株)、日南町森林組合、国土防災技術(株)、 【オブザーバー】 鳥取県
⑤木造公共施設等整備事業に関すること	日南町、(株)オロチ、日南町森林組合、日南町木材事業協同組合

⑥林業アカデミー整備事業に関すること	日南町、国立大学法人鳥取大学、持続可能な地域社会総合研究所、大建工業(株)、(株)レンタルのニッケン、日南町森林組合、日南町木材事業協同組合 <b>【オブザーバー】</b> 鳥取県、鳥取森林管理署、森林技術・支援センター、国立大学法人鳥根大学
⑦200年の森等木育整備事業に関すること	日南町、国立大学法人鳥取大学、(株)オロチ、日南町森林組合

## 2. 重点プロジェクトの進捗状況

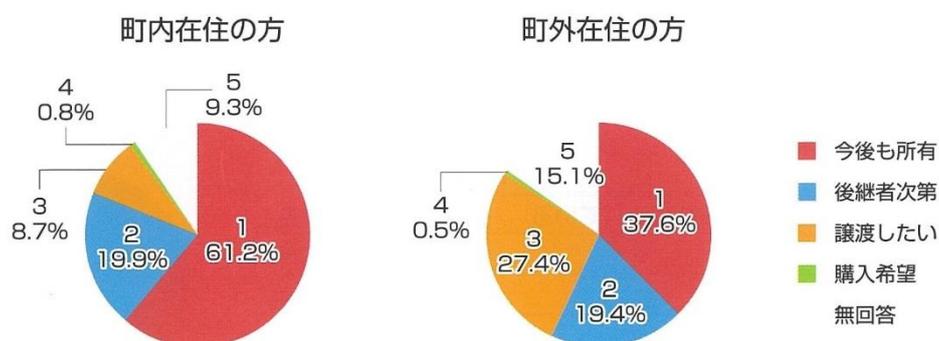
### (1) 『使い切る』木材活用事業

#### ①不在村地主等山林集約化事業

##### 1. 背景

#### 今後の山林の所有について町内在住の方と町外在住の方ごとの解答

	今後も所有		後継者次第		譲渡したい		購入希望		無回答		総件数
町内	583件	61.2%	190件	19.9%	83件	8.7%	8件	0.8%	89件	9.3%	953件
町外	70件	37.6%	36件	19.4%	51件	27.4%	1件	0.5%	28件	15.1%	186件
合計	653件	57.3%	226件	19.8%	134件	11.8%	9件	0.8%	117件	10.3%	1,139件



## 2. ルール

### 【要件】日南町山林寄附採納事務の手引き

- 1) 寄附財産に抵当権等所有権以外の権利が設定されていないこと
- 2) 寄附財産の分筆登記が完了していること
- 3) 寄附財産が共有の山林である場合、共有者全員から無償による寄附について同意があること
- 4) 寄附財産が山林管理上支障を生じない状態にあること

## 3. 成果

### 寄附採納実績

寄附採納の相談件数	相談面積 (ha)	受入決定面積 (ha)	受入面積 (ha)	所有形態
6	126	11	7	寄附申込者の単有

## 4. 課題

- 1) 要件を満たす土地が少ない  
相続登記の未完了、共有者の同意がない
- 2) 共有名義の土地について、共有者の同意を得ることが困難  
共有者についても相続登記の未完了
- 3) 現地調査、登記事項の確認に多大な時間を要する  
→現地調査、事務手続きのマニュアル化、費用負担のあり方について検討が必要

## ② ICT技術を活用した中央中国山地地域モデル循環型林業の確立事業

## ■森林組合が地上レーザを導入

長所

- ・歩くことによって移動中でも計測することができ、10分程度で回れる範囲なら軌跡により境界がわかる。人員の省略化が可能である。

短所

- ・計測時、本体のバッテリーが1~2時間程度しかもたない。
- ・計測中にバッテリーが切れたら保存されていない
- ・現場においてデータ確認が出来ない。
- ・広葉樹を測ることが苦手である
- ・開発途中のためバグ、データ量が多くなると全てで遅くなる。
- ・緩斜面、急斜面での機器の傾きが分かりづらい。



地上レーザ使用の様子

## ③ FSC材・FSC製品流通拡大事業

## ■大建工業(株)が(株)オロチのLVLの高付加価値化事業に着手



加工前



防腐防蟻加工後

## ④森林カスケード新マテリアル開発事業

■大建工業(株)と国土防災技術(株)が共同開発した土壌改良材「DWファイバー」を開発。原料には、(株)オロチが工場で使用しているFSC認証材の端材を使用、大建工業(株)が、月産1,500 m<sup>3</sup>の生産設備を町内に設置し、操業中。町内の林道の法面、りんご農園、R431の松林などで試験採用。地域資源のマテリアル利用による地域経済の進展を図る。



DWファイバー試験利用法面



DWファイバー試験利用法面

## ⑤木材公共施設等整備事業

■地域の会議、研修等の活動の拠点として、町内の FSC 認証林及び県産材を使用した福栄地域振興センターを整備した。新たな建築技術として、町内で生産される L V L と県内で生産される C L T によるハイブリッド工法を導入した。(木材使用量 97m<sup>3</sup> 内 LVL43 m<sup>3</sup>, CLT0.6 m<sup>3</sup>)



## (2) 日南町版林業担い手育成事業

## ①林業アカデミー整備事業

## ■校舎

講義室(最大 36 名)、図書室、シャワー室(男・女)、個別専用ロッカー完備、休憩室、研究室など

## ■演習林

668ha(日本最大)、環境に優しい FSC 認証林、校舎から車で 5 分、事務所棟、倉庫

## ■入学予定者 7 名



②200年の森等木育整備事業

■200年の森遊歩道が完成

■体系的な生涯木育（森林教育）プログラムの策定を計画

- ・日本一濃密な木育（森林教育）を目指す
- ・森に触れ、森で楽しみ、森を知り、森を生かし、森を護る、持続的な地域社会の担い手を育てる



## 【平成 30 年度までの主な経緯】

### 【平成 16 年度】

- (1) H17. 2. 8 矢田日南町長、内田課長 鳥大訪問
- (2) 3. 23-24 岩崎理事外日南町訪問（情報交換会、にちなん環境林視察）

### 【平成 17 年度】

- (3) H17. 4. 21 本名農学部長、日置教授外日南町訪問、視察（県庁林政課同行）
- (4) H18. 2. 21 矢田日南町長、内田課長来学 学長、岩崎理事、林監事外訪問
- (5) 2. 28-3. 1 岩崎理事、林監事外 日南町訪問（意見交換会、町内小学校等視察、協定の調印式）

### 【平成 18 年度】

- (6) H18. 4. 20 第 1 回ワーキンググループ会議 ～H19. 3. 24 第 4 回WG会議
- (7) 7. 7 地域活性化教育研究センター開所式及び記念講演会（能勢学長講演）
- (8) H19. 3. 25 鳥取大学・日南町連携事業成果報告会（日南町役場交流ホールにて）

### 【平成 19 年度】

- (9) H19. 4. 1 鳥取大学社会貢献推進課における日南町職員の派遣研修（手嶋主事）
- (10) 4. 16 30 年後プロジェクト有識者会議
- (11) 4. 20 第 1 回WG会議 ～H20. 3. 2 第 3 回WG会議
- (12) H20. 3. 2 連携事業成果報告会（日南町生涯学習まちづくりフォーラム共催）

### 【平成 20 年度】

- (13) H20. 4. 1 鳥取大学社会貢献室における日南町職員の派遣研修（高橋主任）
- (14) 4. 19 30 年後プロジェクト有識者会議
- (15) 5. 8 第 1 回WG会議 ～H21. 2. 15 第 3 回WG会議
- (16) H21. 2. 15 連携事業成果報告会（日南町生涯学習まちづくりフォーラム共催）

### 【平成 21 年度】

- (17) H21. 4. 1 鳥取大学社会貢献室における日南町職員の派遣研修（荒金主事）
- (18) 6. 9 第 1 回WG会議 ～H22. 3. 12 第 3 回WG会議
- (19) 9. 9-11 明治大学「M-Navi プログラム」による日南町訪問
- (20) 9. 16 「日野郡フィールド実践による地域づくりセミナー」過疎プロジェクト報告会開催
- (21) H22. 1. 22 「大学連携によるまちづくり」能勢学長講演会／連携事業報告会
- (22) 2. 18-19 明治大学菊地ゼミによる日南町訪問・意見交換

### 【平成 22 年度】

- (23) H22. 4. 1 鳥取大学社会貢献室における日南町職員の派遣研修（荒金主事（2 年目））
- (24) 4. 19 第 1 回WG会議 ～H23. 3. 12 第 3 回WG会議
- (25) 9. 9 日南町議会による鳥大視察、研修会
- (26) 11. 24 日南町議会・教育委員会合同研修会
- (27) H23. 2. 1 明大・鳥大合同セミナー「日南町地域活性化への提言」
- (28) 3. 12 「地球温暖化と日南町の挑戦」中村名誉教授講演、連携事業報告会

### 【平成 23 年度】

- (29) H23. 4. 1 鳥取大学社会貢献課における日南町職員の派遣研修（石倉主事）
- (30) 5. 6 鳥取大学連携講座「にちなん町民大学」～12. 2 計 10 回開催
- (31) 6. 15 第 1 回WG会議 ～H24. 3. 3 第 3 回WG会議
- (32) 10. 24 日南町議会による鳥大視察、研修会
- (33) 11. 20-22 明治大学菊地准教授ゼミ生による日南町訪問・意見交換
- (34) H24. 3. 3 連携事業成果報告会（同日、日南町環境フォーラム開催）

### 【平成 24 年度】

- (35) H24. 4. 1 鳥取大学社会貢献課における日南町職員の派遣研修（石倉主事（2 年目））
- (36) 4. 28 鳥取大学連携講座「にちなん町民大学」～12. 8 計 10 回開催
- (37) 6. 8 第 1 回WG会議 ～H25. 3. 2 第 3 回WG会議
- (38) 8. 20 インターンシップ受入（～8. 31 のうち 10 日間）
- (39) 10. 24 日南町議会による鳥大視察、研修会
- (40) 11. 16 にちなん「農家楽」セミナー開催
- (41) H25. 1. 25 日南町自治協議会・自治会長会合同研修（乾燥地研究センター見学）
- (42) 3. 2 連携事業成果報告会（日南町総合文化センターにて）

【平成 25 年度】

- (43) H25. 4. 1 鳥取大学社会貢献課における日南町職員の派遣研修（川上主事）  
 (44) 5. 17 鳥取大学連携講座「にちなん町民大学」～翌 26. 3 計 11 回開催  
 (45) 6. 11 第 1 回WG会議 ～H26. 3. 9 第 3 回WG会議  
 (46) 9. 9 インターンシップ受入（～9. 13 工学研究科 学院生 3 名）  
 ～H25. 11. 11 報告会を開催（日南町役場にて）  
 (47) 10. 2 日南町森林活用プロジェクト会議の立ち上げ  
 第 1 回日南町森林活用プロジェクト会議 ～H25. 12. 5 第 2 回会議  
 (48) 11. 12 四町連携（日南、南部、大山、琴浦）合同企画  
 鳥取大学連携シンポジウムを開催（琴浦町にて）  
 (49) 3. 9 連携事業成果報告会（日南町総合文化センターにて）

【平成 26 年度】

- (50) H26. 4. 1 鳥取大学社会貢献課における日南町職員の派遣研修（川上主事（2 年目））  
 (51) 5. 16 鳥取大学連携講座「にちなん町民大学」～翌 27. 3 計 12 回開催  
 (52) 6. 1 鳥取大学知（地）の拠点整備事業シンポジウムを開催（増原町長出席）  
 (53) 6. 10 第 1 回WG会議 ～H27. 2. 28 第 3 回WG会議  
 (54) 7. 31 第 1 回日南町森林活用プロジェクト会議 ～H26. 11. 5 第 2 回会議  
 (55) 9. 9 ハーブの利用に関する研究会が解散  
 (56) 9. 29 オーダーメイド型インターンシップ開催（～10. 3 工学研究科 6 名）  
 ～H26. 12. 1 報告会を開催（日南町役場にて）  
 (57) 10. 12 鳥取大学風紋祭に炊き込みご飯を出展（四町連携事業）  
 (58) 2. 9 4 タウンストーリーズ（地域の課題解決に取り組んだ学生たち）  
 研究展示会を開催（～2. 26 鳥取大学広報センター）  
 (59) 2. 24 日南小学校にて高齢者疑似体験学習を開催（医学部山本教授）  
 (60) 2. 28 連携事業成果報告会（日南町総合文化センターにて）

【平成 27 年度】

- (61) H27. 4. 1 鳥取大学社会貢献課における日南町職員の派遣研修（古川主事）  
 (62) 4. 17 鳥取大学連携講座 平成 27 年度「にちなん町民大学」開校～翌 28. 3 計 13 回開催  
 (63) 5. 9 「地（知）的好奇心育成のための早期体験学習」にて、学生が日南町での体験活動（田植え）  
 (64) 6. 2 第 1 回WG会議 ～H28. 2. 28 第 3 回WG会議  
 (65) 7. 1 地域学部「地域学入門」にて、古川派遣職員が鳥大と日南町の連携について説明  
 (66) 7. 15 とりりん・オッサンショウオ木製パネルの鳥大への贈呈式（鳥取大学広報センター）  
 (67) 7. 15 「公共政策論 I」にて、増原町長が『「創造的過疎」のまちづくり』と題して講演  
 (68) 7. 30 放置財研究会が発足  
 (69) 8. 20 子ども支援連絡会議を開催（計 3 回開催）  
 (70) 9. 5 日南町まちづくり大会～まち（むら）づくり協議会 10 周年&鳥取大学×日南町連携協定 10 周年記念事業  
 ～（日南町総合文化センターさつきホールにて）  
 (71) 10. 10 鳥取大学風紋祭に炊き込みご飯を出展（5 町連携事業）  
 (72) 10. 25 にちなんふる里まつり連携出前科学実験教室 2015（9 年目）  
 (73) 12. 11 大宮で現地報告会を開催  
 （地域貢献支援事業「コミュニティ力向上に向けたワークショップスキームの開発」）  
 (74) 2. 27 連携事業成果報告会（日南町総合文化センターにて）  
 (75) 2. 29 WG 会議が平成 27 年度鳥取大学長表彰「社会貢献賞」を受賞

【平成 28 年度】

- (76) H28. 4. 1 鳥取大学社会貢献課における日南町職員の派遣研修（佐伯主事）  
 (77) 5. 14 「地（知）的好奇心育成のための早期体験学習」にて、学生が日南町での体験活動（田植え）  
 (78) 7. 6 第 1 回WG会議 ～H29. 3. 5 第 3 回WG会議  
 (79) 7. 20 鳥取大学公開講座 平成 28 年度「にちなん町民大学」開校～翌 29. 3 計 3 回開催  
 (80) 6. 29 地域学部「地域学入門」にて、佐伯派遣職員が鳥大と日南町の連携について説明  
 (81) 8. 1 阿毘縁解脱時にて、前鳥取大学長の能勢隆之先生が「健康幸福寿命」について講演  
 (82) 9. 12 第 3 回放置財研究会を開催（鳥取県庁にて）  
 (83) 10. 23 にちなんふる里まつり連携出前科学実験教室 2016（10 年目）  
 (84) 11. 5 秋の図書館祭りに併せ「国際理解講座」を開催（日南町総合文化センターにて）  
 (85) 11. 10 地域学部「地域就業論」にて、日南町古川主事が「公務員として地域で働くこと」について講演  
 (86) 12. 12 阿毘縁お墓山にて、農学部学生が樹木銘板を設置  
 (87) 12. 18 大宮で現地報告会を開催（大宮まちづくり協議会／地域学部福田教授、筒井准教授との連携）  
 (88) H29. 3. 5 連携事業成果報告会（日南町総合文化センターにて）

【平成 29 年度】

- (89) H29. 4. 1 鳥取大学社会貢献推進課における日南町職員の派遣研修（佐伯主事（2年目））  
(90) 5. 13 「とっとり暮らし早期体験学習」にて、学生が日南町での体験活動（田植え）  
(91) 5. 15 インターンシップ受入（～5.19 農学部学生 1名）  
(92) 7. 13 第1回WG会議～H29.3.3第3回WG会議  
(93) 8. 5 日野川水系における水質調査報告会を開催（日南町総合文化センターにて）  
(94) 8. 9 鳥取大学の学生を招き「国際理解講座」を開催（日南町総合文化センターにて）  
(95) 8. 28 インターンシップ受入（～10.30 農学部学生 3名）  
(96) 9. 15 地方創生政策体験学習を実施（9.15～17までの3日間、日南町地内にて）  
(97) 10. 22 にちなんふる里まつり連携出前科学実験教室2017（11年目）  
(98) 12. 9 地域学部学生と大宮まち協によるまちづくり塾「ぎばんで」を開催  
（大宮まちづくり協議会／地域学部筒井准教授との連携）  
(99) H30. 1. 28 「ITSセミナーin鳥取」にて、企画課出口室長、西田主幹が町の取組みを報告  
（東京大学次世代モビリティセンター主催／鳥取大学共催）  
(100) 3. 3 連携事業成果報告会を開催（日南町総合文化センターにて）  
(101) 3. 23 大宮で現地報告会を開催（大宮まちづくり協議会／地域学部筒井准教授との連携）

【平成 30 年度】

- (102) H30. 4. 1 鳥取大学地域価値創造機構企画管理室における日南町職員の派遣研修（牧主事）  
(103) 5. 8 「とっとり暮らし早期体験学習」にて、学生が日南町での体験活動（にちなんめしふえず）  
(104) 7. 5 第1回WG会議～H30.3.2第2回WG会議  
(105) 8. 10 鳥取大学の学生を招き「国際理解講座」を開催（日南町総合文化センターにて）  
(106) 8. 25 地方創生政策体験学習を実施（8.25～28までの4日間、日南町地内にて）  
(107) 10. 28 にちなんふる里まつり連携出前科学実験教室2018（12年目）  
(108) 12. 15 地域学部学生と大宮まち協によるまちづくり塾「ぎばんで」を開催  
（大宮まちづくり協議会／地域学部筒井准教授との連携）  
(109) 1. 10 日南町民大学で「日南町の多様な地質から読み解く地球の歴史」と題して講演  
（農学部生命環境農学科菅森講師）  
(110) 3. 2 連携事業成果報告会を開催（日南町総合文化センターにて）